

三世代交流事業(ステージ・テント他)



取組地域：姫城地区

取組年度：令和5年度

事業主体：姫城地区まちづくり協議会

事業費：2,819,000円（基金活用額 2,819,000円）

問合せ：☎46-2603

課題・取組の概要

- 地域内の交流や高齢者から子どもまでの幅広い年齢層の交流などを目的に、姫城地区では三世代交流イベントを開催しているが、メイン会場にステージ等がない。
- テントは旧式で非常に重く、設営にも苦慮している状況であった。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 姫城地区の三世代交流イベントは、地域内の子ども達に自分の住む地域の良さを再発見する機会となっている。
- 急な小雨でも、テントを購入したため開催することができた。

今後の課題・アドバイス等

- 三世代交流イベントは、今後は更に、多くの参加者を目指す必要がある。
- 三世代交流となるよう、幅広い年齢層の方に参加されやすい魅力あるイベントを計画する必要がある。

三世代交流事業(ステージ・スカート)



取組地域：姫城地区

取組年度：令和6年度

事業主体：姫城地区まちづくり協議会

事業費：1,126,400円（基金活用額 1,126,000円）

問合せ：☎46-2603

課題・取組の概要

- 地域内の交流や高齢者から子どもまでの幅広い年齢層の交流などを目的に、姫城地区では三世代交流イベントを開催しているが、メイン会場にステージ等がない。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 今回は、令和5年度に購入したステージとスカートについて、追加購入したものである。
- 姫城地区の三世代交流イベントは、地域内の子ども達に自分の住む地域の良さを再発見する機会となっている。

今後の課題・アドバイス等

- 三世代交流イベントは、今後は更に、多くの参加者を目指す必要がある。
- 三世代交流となるよう、幅広い年齢層の方に参加されやすい魅力あるイベントを計画する必要がある。

ふれあいまつり活性化事業



取組地区：妻ヶ丘地区

取組年度：令和6年度

事業主体：妻ヶ丘地区まちづくり協議会

事業費：286,000円（基金活用額 286,000円）

問合せ：☎23-8592

課題・取組の概要

○平成30年度に、妻ヶ丘地区の地域文化及び賑わいの創出のため、「ふれあいまつり」で使用する展示パネル70枚と連結ポール80本を購入して活用している。これまで、「ふれあいまつり」は、上長飯小と東小の体育館を交互に会場としてきたが、地区公民館の建て替えにより、会場は地区公民館に固定することになりパネルとポールの収納と移動がし易いよう台車を購入する。

成果・事業の特徴・工夫したこと

○台車を4台購入し、パネルとポールを台車上で保管を行い、倉庫からの出し入れも容易にした。
 ○まち協主催の「ふれあいまつり」での作品展示のほか、自治公民館主催事業やまち協傘下の団体のイベントや研修等での展示に利用してもらう。
 ○台車ごとに設置場所に移動できるので、作業時間も短縮でき、様々な場での活用が期待される。

今後の課題・アドバイス等

○他の団体に対し、パネルと台車のセットでの貸出しを行うことで地域の活性化に役立てる。

祝吉地区タイムカプセル開封事業



取組地域：祝吉地区

取組年度：令和5年度

事業主体：祝吉地区社会教育関係団体等連絡協議会

事業費：770,000円（基金活用額 770,000円）

問合せ：☎23-2890

課題・取組の概要

- 1993年に当時の祝吉地区元気づくり計画委員会が「あやめの里づくりタイムカプセル」を早水公園内に設置し、住民らが30年後に向かた思い出の品等を収納した。タイムカプセルの銘板に「2023年11月 祝吉地区社会教育関係団体等連絡協議会 開封」との記載があるため、カプセルを開封し、物品を返還するもの。
- 業者に依頼してタイムカプセルを開封し、収納物を取り出し保管。その後、住民に返還するための準備等を行った。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 2023年11月3日に開催した祝吉地区ふれあい文化祭に合わせて、開封式を住民参加のもと式典として開催し、収納物を本人に返還した。各種物品を収納した当時の住民自らが式典に参加した。また、収納物は文化祭で展示を行った。
- タイムカプセル本体については解体撤去し、跡地を整地し、原状回復した。

今後の課題・アドバイス等

- 収納物を返還し、住民には大変喜ばれた。また、返還に伴う式典を開催する事により郷土愛と連帯感の高揚を図り、住み良いまちづくりの原動力とすることができた。
- 収納物を返還するための周知が徹底しなかったため、式典終了後も問合せが相次いだ。返還についての周知方法等を考慮する必要があった。

イルミ&アートフェスタ開催事業



取組地域：五十市地区

取組年度：令和3～6年度

事業主体：五十市地区まちづくり協議会

事業費：4,967,108円（基金活用額 4,925,000円）

問合せ：☎23-2184

地域イベント

課題・取組の概要

- 地区の特色の一つである「桜通り」（県道都城隼人線）で歩行者天国を実施しようと、協議会の発足直後から検討が重ねられてきた。
- しかし交通量の増加で実施が困難となり、代替案としてライトアップやイルミネーション等の検討を重ねた結果、イルミネーションと絵画や竹灯籠のアート作品を展示し、地域への愛着を深め、活性化につなげようと今回の実施に至った。
- 令和3年度：令和4年3月12日（土）～21日（月）
令和4年度：令和5年3月11日（土）～20日（月）
令和5年度：令和6年3月9日（土）～17日（水）
令和6年度：令和7年3月8日（土）～16日（日）

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 「桜通り」で実施するため、開催時期は開花の頃とした。
- 住民による手作りを基本として、絵画は地区内の学校、保育園等が作成。灯籠は地元の高校生に作成を依頼した。またイルミネーションの電源供給も地元の協力を得ている。

今後の課題・アドバイス等

- 10年間は毎年継続する考え方で取り組んでいる。
- 集客、駐車場確保、展示面積や参加住民の拡大等が課題であり引き続き改善、努力したい。

横市地区もちお公園夏まつり事業



地域イベント

取組地区：横市地区

取組年度：令和5年度

事業主体：横市地区まちづくり協議会

事業費：2,267,907円（基金活用額 2,212,530円）

問合せ：☎25-2257

課題・取組の概要

- 横市地区では夏季に地区全体で行うまつりがない。
- 母智丘公園は夏季に利用者が少ない。
- 子どもたちの夏の思い出づくり、舞踊教室等の発表の機会の創生、横市地区の連帯感の醸成等を目的にする夏まつりを実施する。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 横市地区全域から灯ろうの出展を募り、参加型のまつりにした。
- 企画は業者を交えて協議し、子どもが出演するプログラムを中心に構成し、集客を図った。
- 音響、司会者等は専門家に委託した。
- 初回はまちづくり協議会が主催し、備品の整備等を行うが、2回目以降は新たな主催者を立ち上げて開催する。
- 想定以上の集客があり、大いに盛り上がるまつりとなった。

今後の課題・アドバイス等

- 想定以上の来客のため、駐車場が不足して、渋滞も発生した。
- 2回目以降の主催者を予め決めて、協働で開催できれば、次回につながる。

横市地区まつり支援事業



取組地区：横市地区

取組年度：令和5年度

事業主体：横市地区まちづくり協議会

事業費：521,230円（基金活用額 506,660円）

問合せ：☎25-2257

課題・取組の概要

- 「横市地区まつり」をはじめとする、横市地区で開催する各種祭りの活性化を図るため、祭りで使用する備品及び消耗品を購入
- 横断幕、机、折りたたみす、法被セットを購入

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 準備、後片付けに利便が良いように、「都城もちお桜まつり」、「もちお公園夏まつり」を開催する母智丘公園脇にある母智丘神社の倉庫に保管することとした。
- 備品の保管・管理はまつり実行委員会に委託した。

今後の課題・アドバイス等

- 備品・消耗品の更新時の費用について、基金などの手当をしておく必要がある。

おきみず祭り活性化事業



取組地域：沖水地区

取組年度：令和6年度

事業主体：“住みよいまち沖水”協議会

事業費：1,724,800円（基金活用額 1,724,800円）

問合せ：☎38-1033

課題・取組の概要

- 新型コロナ感染症の影響によりおきみず祭りの開催が中止となり6年振りの開催となった。
空白期間が生じたことで不慣れな点が多く準備不足等が懸念された。
- 祭り用備品として、アルミ製のテント3張り・タープテント3張り・アウトドアテーブル5台を購入した。
- 祭りの出店会場用の大型テント・家型テント・机・イスをリース対応とした。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 祭りで利用するテント・机・イスをリース対応としたことで役員の負担軽減となり、会場の雰囲気も良くなり、大いに盛り上がった。
- 沖水小学校創立150周年記念式典とおきみず祭りを同日開催することで、保護者と地域住民が一体となって式典を祝うことができた。

今後の課題・アドバイス等

- 祭りの催し内容について検討が必要である。
- 学社融合としてスタートした祭りなので、児童と地域の方との学習支援としての交流方法の検討が必要である。

地域で祝う小学校 150 周年事業



取組地域：沖水地区

取組年度：令和6年度

事業主体：“住みよいまち沖水”協議会

事業費：734,360円（基金活用額 734,360円）

問合せ：☎38-1033

課題・取組の概要

- 沖水小学校創立 150 周年の記念事業を“住みよいまち沖水”協議会が P T A と合同で行い、地区内に住む小学生と地域住民が一体となって周年をお祝いし思い出に残るイベントを行う。
- 創立 150 周年記念式典日に併せておきみず祭りを同時開催した。

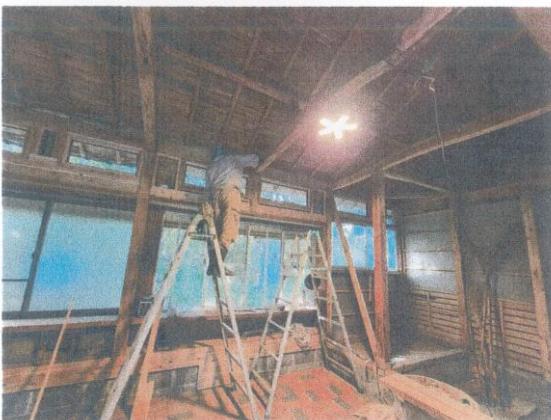
成果・事業の特徴・工夫したこと

- 記念式典日より前に小学校グランドで児童によるバルーンリリースを実施し、その様子をドローンによる動画撮影・写真撮影を実施した。
- 記念式典と同時に開催したおきみず祭りでバルーンリリースの動画鑑賞を実施した。また、バルーンリリースの状況写真をクリアファイル(A3)見開きサイズに印刷して児童・地域関係者に配布した。

今後の課題・アドバイス等

- 記念式典とおきみず祭りを同時開催したため、スケジュールに時間の余裕がなかった。

西岳地区 kokeonne(こけこんね)プロジェクト事業



取組地域：西岳地区

取組年度：令和5年度

事業主体：西岳地区まちづくり協議会

事業費：1,128,011円（基金活用額 1,000,000円）

問合せ：☎33-2000

課題・取組の概要

- 西岳地区は超高齢化しており、高齢者の死亡及び施設入所等により空き家が増加し、人口減が深刻な状況となっている。一方、中山間地域である西岳地区への移住希望者は年間数件あるが、空き家の家財処理、補修等がなされておらず、賃借等ができない状況である。
- 本事業により空き家の所有者と地域が無償贈与契約を交わし、譲り受けた家屋を移住希望者の体験施設とするための整備を行った。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 空き家の無償贈与契約には相続者も関係するために、自治公民館長が主体となって動かぬとなかなか前進していかない。
- 「あれもできない・これもできない」から、「あれもしたい・これもしたい」と未来の明るい展望をえがけるようになった。

今後の課題・アドバイス等

- 自治公民館長を主体とした「やる気」が一番重要である。
- SNSを利用した西岳移住情報発信が必要となってくる。

世代間交流支援事業



取組地域：中郷地区

取組年度：令和4年度・令和6年度

事業主体：中郷地区壮青年連絡協議会

事業費：1,128,720円（基金活用額 1,064,000円）

問合せ：☎39-0713

地域イベント

課題・取組の概要

○農作物（サツマイモ）の植付け・収穫・調理までを地区の幅広い世代合同で行うことで食育と世代間交流の支援を図る。

○耕作放棄地を活用し、農地の保全にも寄与する。

成果・事業の特徴・工夫したこと

○サツマイモの植付けや収穫作業を小学生から高齢者まで、多くの地域住民が一緒に体験することで、世代間交流が図られた。

○収穫作業後には、収穫した芋を使ってガネ、さつま汁、芋ご飯を調理し、郷土料理を楽しんだ。

○食事後に参加者全員でクイズ・ゲームを行い参加者の交流を深めた。

今後の課題・アドバイス等

○イベントを定着させるため農業に関する知識・技術を持った人材の育成と専用機械の確保が不可欠。

○芋の品質向上と収穫量のアップ

山之口地区人生チャレンジ講演会事業



地域イベント

取組地域：山之口地区

取組年度：令和5年度

事業主体：山之口地区まちづくり協議会

事業費：712,020円（基金活用額 712,000円）

問合せ：☎57-3114

課題・取組の概要

○本県出身の競泳オリンピックメダリストの松田丈志氏を講師に迎え、世界を相手に戦った体験談をとおして、子どもたちに夢と希望と感動を与える講演会を開催

成果・事業の特徴・工夫したこと

○山之口地区内の小学校5・6年生児童及び中学校生徒全員受講。

○オリンピックの銀メダルを受講者全員が、手に取って触れることができた。

今後の課題・アドバイス等

○今後も小中学生を対象とした各種講演会を実施したい。

山之口地区 SDGs を楽しく学ぶ講演会開催事業



取組地域：山之口地区

取組年度：令和6年度

事業主体：山之口地区まちづくり協議会

事業費：882,450円（基金活用額 862,000円）

問合せ：☎57-3114

地域イベント

課題・取組の概要

- 子ども達が成長していく過程で未来に向けて豊かな世界を築くために、「誰一人取り残さない」という価値観や、「持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現」を目指す知識や考え方を学ぶことを目的とする。
- 受講者は、地区内の小学校5年、6年生・中学生生徒全員

成果・事業の特徴・工夫したこと

- SDGs や環境問題に造詣の深いマリカ先生を講師に、混沌とした社会を生き抜くために、持続可能な世界を築くため、何をしたらいいのか、何ができるのか自分自身で考え、答えを導き出す方法を紹介していただく。また、講師はマジシャンでもあり、クイズやマジック等を取り入れた講演で、世界や日本が抱える包括的な問題、私たちができることを分かり易く、楽しく学べる講演会を実施

今後の課題・アドバイス等

- 今後も小中学生を対象とした各種講演会を実施したい。

山田地区婚活レクリエーション事業



取組地域：山田地区

取組年度：令和4～5年度

事業主体：山田地区まちづくり協議会

事業費：396,238円（基金活用額 396,238円）

問合せ：☎64-1121

課題・取組の概要

- 山田町近郊に居住する独身男女の交流する機会が少ない。
- 山田町の良さをアピールする機会が少ない。
- 独身男女の交流会を企画、山田地区の良さをアピール、若者の定住・活性化に結び付ける。
- 【春恋ゴルコン！】に決定
第1部パークゴルフでエンジョイ 第2部B B Qでレクリエーションをしながら交流会

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 山田のパークゴルフ場でのレクリエーションと交流会との結び付けは、地域の独自性があり、これからも活用していく。
- 雨天時については、軽スポーツを実施する。（別会場の確保と周知方法）
- 参加者からは、みんな揃って「楽しかった」「また開催して欲しい」との声をいただいた。

今後の課題・アドバイス等

- 参加者を増やすための効果的な広報及び周知
- スタートが遅くなり、募集告知の期間が十分に取れていなかった。
- 参加者を呼び込む戦略及び市とのマッチング

がんばろう高崎復活祭事業



取組地域：高崎地区

取組年度：令和4年度

事業主体：高崎町商工会

事業費：675,610円（基金活用額 450,000円）

問合せ：☎62-1114

地域イベント

課題・取組の概要

- 新型コロナウイルス感染症拡大により各種イベントが中止となり、地域住民の交流の機会も希薄になってきており、地域活性化への取組ができない状況が続いていた。
- 新型コロナウイルス感染症で影響を受けている地域の商工業者支援のため、WITH・P OSTコロナを見据えた積極的な取組を行うことが必要になっていた。
- 子ども向けイベント（キッズバイク試乗会・うなぎ掴み取り）や地元出演者ステージイベント、トライアルバイクショーなどの復活祭イベントを開催

成果・事業の特徴・工夫したこと

- まちづくり協議会と連携し、新型コロナの感染防止対策を講じて実施
- 集客のため、総額100万円大抽選会と小規模事業者、商工会青年部・女性部の飲食店コーナーと手づくりの雑貨を扱う「橋クラフトアンティーク市」（50店舗以上）を同時開催

今後の課題・アドバイス等

- 開催の目的を達成し、従来からのイベントが再開したため、1回の開催で終了

高崎地区縁結び促進事業



取組地域：高崎地区

取組年度：令和4～6年度

事業主体：高崎地区まちづくり協議会

事業費：1,394,023円（基金活用額 1,300,373円）

問合せ：☎62-1114

課題・取組の概要

- 高崎地区の人口は、ここ数年で大幅に減少し、少子高齢化が顕著になってきているが、その一方で「出会いの場」を求める多くの独身者がいる。
- 平成26年度から少子化対策と地域の活性化を目的とした縁結び促進事業を実施している。
 - ①たかざき恋物語（集団お見合いパーティー形式の婚活イベント）
 - ②高崎よかにせ研究会（異性との接し方などスキルアップ事業）

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 参加予定の男性に「高崎よかにせ研究会」として、事前に異性との接し方などのスキルアップを図った。
- 令和6年度までに38組以上のカップルが成立し、うち平成27年度以降に成立したカップルの内6組が結婚まで至るなど、成果を挙げている。

今後の課題・アドバイス等

- 今後も毎年事業を継続する予定である。
- 参加者が減少傾向にあり、事業を継続するために参加者の募集方法等を検討する必要がある。

高崎春まつり事業



取組地域：高崎地区

取組年度：令和5年度

事業主体：高崎春まつり実行委員会

事業費：1,061,495円（基金活用額 600,000円）

問合せ：☎62-1114

課題・取組の概要

○新型コロナウイルス感染防止のため3年間開催できなかった「高崎春まつり」を、町内各団体で実行委員会を組織し、疲弊した高崎町の商業振興や地域活性化を目的に開催した。

成果・事業の特徴・工夫したこと

○幅広い年齢の方々に参加していただくため、犬譲渡会、軽トラ市、橋クラフトアンティーク市を同時開催

○高崎中学校の生徒ボランティア16名に、当日のまつり運営に協力をもらった。

今後の課題・アドバイス等

○毎年継続して開催する予定であり、令和6年度からはイベント開催費補助金で開催している。

高崎北斗鍋フェスタ事業



取組地域：高崎地区

取組年度：令和6年度

事業主体：高崎地区まちづくり協議会

事業費：1,302,254円（基金活用額 1,083,804円）

問合せ：☎62-1114

課題・取組の概要

- 平成2年に村おこしの一貫として開発した、高崎地区オリジナルのメニューである、「北斗鍋」を中心としたイベントを開催し、「北斗鍋」を町内外にPRする。
- イベントで使用するカセットコンロと鍋を50セット購入
- 前売りチケットを50組（200名）分販売

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 高崎地区の人も、北斗鍋を再認識するきっかけとなった。
- チケットを購入できなかった来場者に対して、北斗鍋を一杯400円で販売
- 高崎地区以外から17組の参加があり、北斗鍋のPRを行うことができた。
- マルシェの同時開催や、高崎町商工会の商品券が当たる抽選会を実施

今後の課題・アドバイス等

- 開催当日は、開催決定後に小雨が降り始めたため、食材を持ち帰る人が多く、会場内で食事をする人が少なかった。
- 雨天時の対策としてテントの設置を検討したが、予算の都合により設置できなかった。今後は毎年実施予定であるため、雨天時の対応を検討する必要がある。